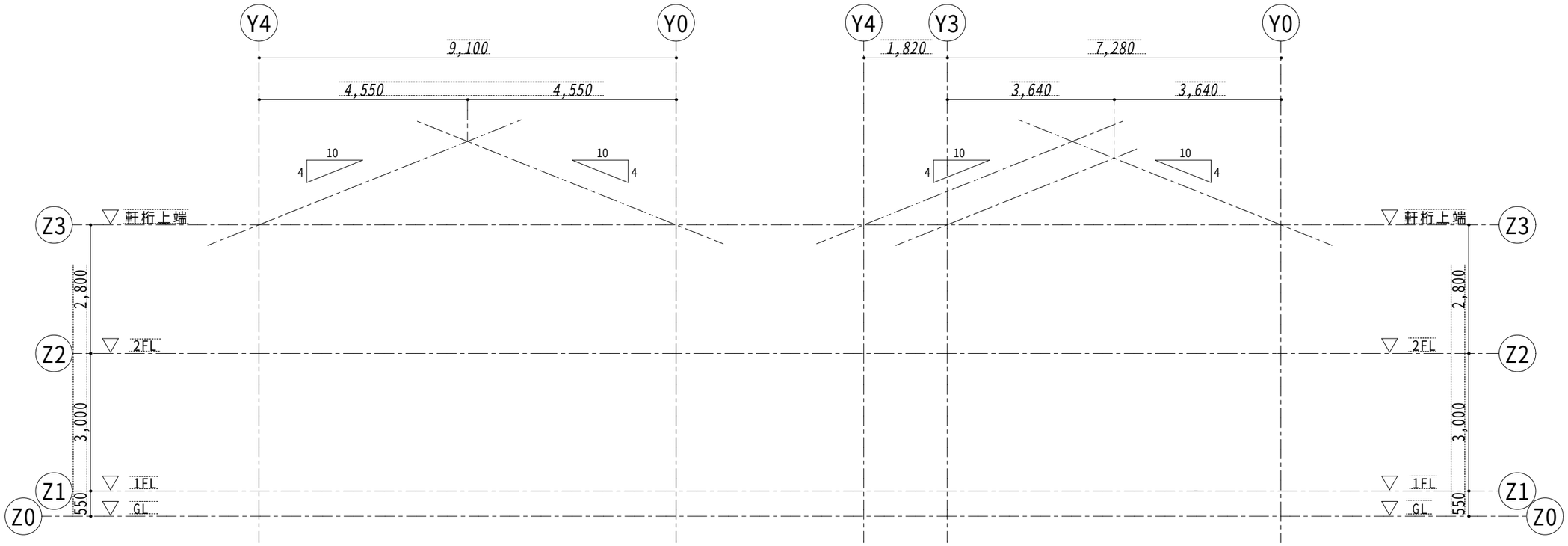
断面図の描き方手順



A-A 断面図（S=1/100）

B-B 断面図（S=1/100）

・レイアウトを決めて、基準線（細一点鎖線）を描く（屋根勾配は勾配定規を使用する）
・平面図を利用し、平面図の基準線が断面図の基準線と一致するようにテープなどで固定する。
・平面図の位置を確認しながら、線を断面図におろし位置を決めていく。（極細線で）
・切れている断面部分は太線で描き、その他は細線で描く。但し、壁の面が変化するところは太線とする。

表題	木造２階建専用住宅			学校名	山梨県立甲府工業高等学校		
図名	断面図(切り妻屋根)	尺度	1：100	科年番	建築科１年41番	氏名	西桜　文宏